

開南大学夏期中国語研修報告書

総合管理学部総合管理学科 4年

青山日奈子

8月16日～8月30日の2週間、台湾の開南大学で行われた研修に参加しました。午前中は授業、午後から文化体験や観光、というスケジュールで開南大学の寮で2週間生活しました。

午前中に行われた授業では、私は華語Bクラスを選択しました。初中級レベルということで授業内容自体は大学1、2年で学習したレベルでしたが、先生の話す中国語を聴き取って理解することができず苦戦しました。加えて単語テストや中国語での発表が毎回実施され、最初は周りについていくことに必死でした。そのような状況の中で、単語テストのために夜遅くまで勉強したり、中国語での発表があるときには開南大学の学生チューターさんに文章添削や発音練習に付き合ってもらったり、自分なりに努力できたことは大きな成長につながったと感じています。

授業で習った中国語を使って夜市で現地の方とコミュニケーションをとることができた時はとても嬉しかったです。

最終日の成果発表会で華語Bクラスは演劇、ダンス、歌を披露し、1位を獲得することができました。最初は周りのレベルの高さに圧倒され華語Aクラスへ変更しようかと考えましたが、華語Bクラスで最後まで頑張ってきたと感じています。



▲鼎泰豊の小籠包



▲彩虹眷村

半日自由行動ではグループのメンバーと桃園市内、台北の永康街に行きました。1日自由行動では新幹線に乗って台中まで行き、彩虹眷村や宮原眼科、臺中国家歌劇院などを周りました。

自由行動ではグループのみんなと計画を立てて楽しい時間を過ごすことができたので充実した日々でした。2週間で小籠包や魯肉飯、大根餅、豆花、タロイモジュースなど台湾の美味しい食べ物をお腹いっぱい食べることができて幸せでした。

観光地だけではなく、大学周辺や夜市など人々が普段生活している街を歩いたことで台湾の生活により近く触れることができました。開南大学の学生はもちろんのこと、他大学の日本人学生との関わりもあり良い刺激を受けることができたと感じています。2週間という短い間でしたが、台湾で様々な経験をするのができた自分の成長に大きくつながりました。言語はコミュニケーションツールとして必要不可欠だと身に染みて感じると共に、私の語学能力では全く通用しないことがわかったので今後も学習に励みたいと思います。



▲大竹夜市